

平成 29 年度学校評価報告書（目標設定）

視点	4年間の目標 (平成 28 年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
教育課程 学習指導	<p>単位制の利点をいかし、年次の共通科目を基本とした普通科教育を着実に展開するための教育課程編成の工夫と授業改善に取り組む。</p> <p>生徒数が減少する中で、学校行事等の充実を図る。</p>	<p>次年度の生徒数減少に備えた教育課程の工夫を行う。</p> <p>授業改善に向けた取組を充実させる。</p>	<p>次年度の生徒及び教員の定数減をふまえ、選択科目のあり方を検討する。</p> <p>中学校との相互授業参観や授業研修会などを通して「生徒主体の授業の工夫」に取り組む。</p>	<p>次年度に向けた適切な教育課程を設定することができたか。</p> <p>「生徒主体の授業の工夫」の平均点が平成 28 年度(3.21)以上となったか。</p>
生徒指導 支援	<p>初期段階であってもすみやかに生徒指導・支援が行えるよう、職員全体による一貫したサポート体制の構築と充実を図る。</p> <p>生徒数の減少に備え、活気ある学校生活を維持するため部活動加入促進を図る。</p>	<p>生徒支援については、全職員による確実な初期対応が可能な体制を整える。また、増加している教育相談のニーズに応える。生徒指導については、社会に通用するルールやマナーを守れる生徒を育成する。</p> <p>オリエンテーションの内容を充実させ、年次と連携することにより入部を促進する。</p>	<p>生徒が相談しやすいよう広報・申込み方法や相談時間の工夫によって希望者が全員受診できるようにする。全クラス共通のマニュアルを整備し、生活委員を機能させる。</p> <p>部活動オリエンテーションで配布する冊子の内容を充実させ、各部のデモンストレーションを行う。年次を挙げて入部の啓発を継続的に行う。</p>	<p>カウンセリングの受診率が100%となり、合わせて課題解決につながったか。</p> <p>生徒の頭髪服装検査及び遅刻指導での指導生徒数が、平成 28 年度より減少したか。</p> <p>部活動への加入率が平成 28 年度より高まったか。</p>
進路指導 支援	<p>地域に根ざした社会形成者の育成につながるキャリア教育を行う。</p> <p>妥協しない進路実現に向けた進路指導の充実を図る。</p>	<p>職業と自らの適性について考えさせる。</p> <p>一般受験をする生徒の比率を高める取組を行う。</p>	<p>調べ学習等を行い、職業に対する理解を深め、インターンシップ・一日看護体験等への参加を推奨する。</p> <p>模擬試験の実施回数を増やし、自信を持って一般受験をすることのできる生徒を育成する。</p>	<p>平成 28 年度に比してインターンシップや一日看護体験に参加した生徒が増加したか。</p> <p>平成 28 年度に比して一般受験をする生徒が増加したか。</p>
地域等との 協働	<p>家庭及び地域社会との協働による教育活動をさらに充実させ、地域の誇りたる学校の存在を維持する。</p>	<p>地域の行事等への積極的参加は継続するとともに、次年度以降の生徒数減少を見据え、地域の方々が参加する学校行事のあり方を工夫する。</p>	<p>地域の行事に生徒を参加させる。また、本校行事に地域の方々がどのように関わることができるかを検討する。</p>	<p>地域活性化に貢献しているか。(地域の方々への聞き取り)</p> <p>次年度以降の地域の方々に関わるることのできる行事を計画できたか。</p>
学校管理 学校運営	<p>統合を控え、4年間生徒のために何事にも前向きかつ意欲的に取り組む職員集団をつくりあげる。</p>	<p>情報機器やネットワーク等を適切に管理し、利用を促進することで効率的・効果的な教育活動を推進する環境を整える。</p>	<p>授業用 PC、PC 教室をはじめとする機器や施設を適切に管理し利用しやすい環境を整備するとともに、利活用に関する情報を提供する。また、校内ポータルサイトの活用を促進することで、情報の共有を活性化・効率化する。</p>	<p>PC 教室等の利用頻度が向上したか。</p> <p>ポータルサイトの利用調査による利用率の向上が見られたか。</p> <p>(共に対前年度比)</p>